

# 関の氏神 龜山八幡宮



下関六十か町の氏神「関の氏神」で奉斎され親しまれている亀山八幡宮は、山陽道の起終点、九州西海道や北浦街道への交通の要衝に立地し、多くの人々が行きかつてきました。

亀山八幡宮の大鳥居を登ると、境内には世界一のふく像を始め、多くの史跡、石碑がありゆっくりと散策することができます。